



## 平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月15日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 大村 洋一 TEL 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	20,797	4.9	1,728	△2.4	1,914	△0.7	1,158	△1.3
29年2月期第3四半期	19,833	0.1	1,771	0.6	1,927	0.2	1,174	△2.7

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 1,463百万円 (177.3%) 29年2月期第3四半期 528百万円 (△50.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	119.76	—
29年2月期第3四半期	121.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	26,078	16,603	56.4	1,519.40
29年2月期	25,317	15,594	54.7	1,433.28

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 14,700百万円 29年2月期 13,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年2月期	—	20.00	—		
30年2月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,700	7.6	2,600	9.5	2,900	9.1	1,850	15.6	191.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成29年4月12日公表の業績予想から変更はありません。

また、当社は、平成29年6月29日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行7,800株を行っております。

「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式発行後の期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	9,675,800株	29年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	648株	29年2月期	648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	9,671,732株	29年2月期3Q	9,667,385株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成30年1月29日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
3. 補足情報 .....	7
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	7
(2) 海外売上高 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の持ち直しにより、緩やかな回復基調が継続しています。また、世界経済の回復を背景に、当社グループの進出地域である中国、東南アジア、米国経済についても総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、売上高は20,797百万円（前年同期比4.9%増）となりました。利益面では、増収および有利購買の推進や製品収率向上等コスト低減活動による原価抑制により売上総利益は増益を確保したものの、減価償却費およびシステム関連費用等での販売費及び一般管理費の増加を吸収しきれず、営業利益は1,728百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益は1,914百万円（前年同期比0.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,158百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

## ①日本

## (特殊潤滑油)

主要顧客である自動車関連では国内生産台数が前年同期比プラスで推移する中で、ダイカスト用油剤、切削油剤および難燃性作動液が既存顧客での増販、新規顧客の獲得および高付加価値品の増販により好調に推移しました。また熱間鍛造潤滑剤は顧客における自動車鍛造部品の輸出増に支えられ好調に推移しました。その一方で、連結子会社のエチレンケミカルでの自動車用ケミカル製品の売上は、顧客での在庫調整および輸出の減少により前年同期を下回りましたが、特殊潤滑油全体では前年同期を上回る実績となりました。

## (合成潤滑油)

高温用合成潤滑油は、当社顧客による自動車ベアリング用グリースの輸出増に支えられ好調に推移しました。その一方で、近年のハードディスクドライブ出荷台数減少の影響を受け、ハードディスク表面潤滑剤の売上が当第3四半期連結会計期間は低調に推移したことにより、合成潤滑油全体では前年同期を下回る実績となりました。

## (素材)

流動パラフィン販売数量が全般的に堅調に推移したことに加え、原材料価格上昇に伴う販売価格の改定により、売上は前年同期を上回りました。

## (ホットメルト接着剤)

粘着および空気清浄機フィルター向けの売上は、既存顧客での増販および新規顧客獲得により好調に推移した一方で、主力の衛生材用途での売上が顧客での販売減の影響を受け、当第3四半期連結会計期間に伸び悩んだことにより、ホットメルト接着剤全体では前年同期を下回る実績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は15,607百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は1,093百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

## ②中国

自動車生産台数が前年同期比プラスで推移する中で、ダイカスト用油剤、作動油および切削油剤等特殊潤滑油の売上は前年同期を上回りました。また、ホットメルト接着剤についても、空気清浄機フィルター向けの売上が前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,586百万円（前年同期比25.9%増）、セグメント利益は256百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

## ③東南アジア

タイおよびインドネシアにおける自動車生産台数が総じて前年同期比プラスで推移する中で、ダイカスト用油剤、作動油および切削油剤等特殊潤滑油の売上は前年同期を上回りました。また、ホットメルト接着剤についても新製品の投入および新規顧客の獲得等により、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,323百万円（前年同期比11.3%増）となり、セグメント利益は346百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

## ④北米

年初来、自動車販売台数が前年同期比減で推移する中で、主力のダイカスト用油剤の売上は前年同期並みで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は636百万円（前年同期比2.0%増）となり、人員増による人件費の増加および企業買収に係る費用の発生等により、セグメント損失は3百万円（前年同期は500万円の利益）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,604	3,064
受取手形及び売掛金	6,776	6,971
商品及び製品	2,212	2,281
原材料及び貯蔵品	1,676	1,721
その他	411	460
貸倒引当金	△27	△27
流動資産合計	13,652	14,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,049	3,001
機械装置及び運搬具(純額)	1,759	1,796
土地	2,426	2,427
その他(純額)	630	773
有形固定資産合計	7,863	7,997
無形固定資産		
のれん	856	761
その他	674	614
無形固定資産合計	1,530	1,374
投資その他の資産	2,272	2,238
固定資産合計	11,665	11,609
資産合計	25,317	26,078
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,233	4,212
短期借入金	1,726	1,645
未払法人税等	315	203
賞与引当金	506	265
その他	1,123	1,604
流動負債合計	7,903	7,929
固定負債		
長期借入金	1,190	800
退職給付に係る負債	384	411
その他	245	335
固定負債合計	1,819	1,546
負債合計	9,722	9,475
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,091	2,098
資本剰余金	1,951	1,958
利益剰余金	9,537	10,283
自己株式	△1	△1
株主資本合計	13,577	14,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	91
為替換算調整勘定	290	338
退職給付に係る調整累計額	△81	△69
その他の包括利益累計額合計	279	361
非支配株主持分	1,738	1,903
純資産合計	15,594	16,603
負債純資産合計	25,317	26,078

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	19,833	20,797
売上原価	13,045	13,663
売上総利益	6,789	7,134
販売費及び一般管理費	5,018	5,406
営業利益	1,771	1,728
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	11	9
持分法による投資利益	173	167
その他	108	42
営業外収益合計	307	228
営業外費用		
支払利息	15	13
為替差損	112	5
固定資産除却損	4	11
その他	21	13
営業外費用合計	151	42
経常利益	1,927	1,914
税金等調整前四半期純利益	1,927	1,914
法人税、住民税及び事業税	563	536
法人税等調整額	△19	3
法人税等合計	544	539
四半期純利益	1,383	1,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	209	217
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174	1,158

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	1,383	1,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	24
為替換算調整勘定	△821	46
退職給付に係る調整額	16	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	5
その他の包括利益合計	△855	88
四半期包括利益	528	1,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488	1,240
非支配株主に係る四半期包括利益	39	223

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産および繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産および繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(その他流動資産)が18百万円、繰延税金資産(投資その他の資産)が9百万円、利益剰余金が24百万円、非支配株主持分が3百万円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,236	2,026	2,958	613	19,833	—	19,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,153	28	27	10	1,218	△1,218	—
計	15,388	2,054	2,985	623	21,051	△1,218	19,833
セグメント利益	1,141	189	326	50	1,706	65	1,771

(注) 1. セグメント利益の調整額65百万円には、セグメント間取引消去57百万円、たな卸資産の調整額9百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,403	2,447	3,315	632	20,797	—	20,797
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,204	138	8	4	1,354	△1,354	—
計	15,607	2,586	3,323	636	22,151	△1,354	20,797
セグメント利益又は損 失(△)	1,093	256	346	△3	1,692	36	1,728

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額36百万円には、セグメント間取引消去46百万円、たな卸資産の調整額△9百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	20,757	104.9
特殊潤滑油	9,386	103.6
合成潤滑油	2,044	98.2
素材	2,677	105.6
ホットメルト接着剤	5,416	107.2
その他	1,234	116.2
賃貸ビル事業	40	100.0
合計	20,797	104.9

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	7,153	725	59	7,937
II. 連結売上高(百万円)				20,797
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.4	3.5	0.3	38.2

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。